

流シ奉ル事ノ淺猿サヨ、武家ノ運命今ニ盡ナント、所憚ナク云聲巷ニ滿、

〔太平記九〕主上上皇御沈落事

備前國ノ住人中吉彌八、行幸○光ノ御前ニ候ケルガ、敵近ク馬ヲ懸寄テ、忝モ一天ノ君、關東へ臨

幸成處ニ、何者ナレバ加様ノ狼籍ハ仕ルゾ○下

〔伯耆之卷〕長高○名和承り、少し差退、袖かさ合、泪をはらくと流て申けるは、忝も一天の君○醜、翻、後の

勅定を蒙りながら、いかで子細を可申候、

〔圓融院御受戒記〕寛和二年三月廿二日庚寅、侍臣曰○中、十善之主、既富春秋、其猶如此、我等何益○下

略

十善之主

〔下學集下〕十善○本ノ作十惡、即十善也、別而可無十善義、

〔榮花物語日〕隆○隆の○覺寛弘八年六月十三日御讓位○一、十月十六日御即位○三なり○中、そこらの

かんたちちめ殿上人、御おくりつかうまつり給て、御こしのさゝげられ給へる程ぞ、猶限りなき十

善の王におはしますめれ、

〔讚岐典侍日記〕十戒を先の世にうけさせ給ひて、破らせ給はざりければこそ、此世にて十善の

位、永く保ち佛法をわがめ、一切衆生をわはれみさせ給ふ心、いまだ昔より今に至る迄、かばかり

の帝王○堀河おはしますさず、

〔保元物語三〕新院御遷幸事

新院○崇徳ヲ讚岐國へ遷シ奉ルベキ由ヲ奏聞ス○中、十善ノ君、萬乘ノ主、先世ノ宿業ヲバノガレ

給ハズト思召慰ムハシトゾ成ニケル、

〔源平盛衰記四十三〕二位禪尼入海事

哀レナル哉、花ニ喩ヘシ十善ノ御糖○安徳、無常ノ風ニ匂ヲ失ヒ○下